

# 全国統一品質管理監査結果報告書

(令和6年度)

和歌山県生コンクリート品質管理監査会議



## 〔 目 次 〕

は じ め に

全国統一品質管理監査制度の仕組み	-----	1
和歌山県生コンクリート品質管理監査会議委員名簿	-----	2
I 品質管理監査実施工場	-----	3
II 品質管理監査結果	-----	3
1. 品質管理監査の概要	-----	3
2. 監査の評価・判定基準	-----	4
3. 監査結果の総括	-----	5
A 総括的事項の調査	-----	5
B 個別的事項の調査	-----	7
C 実地調査 ・抜取試料の概要	-----	11
①計量精度の検査	-----	11
②製品の検査 ○ 圧縮強度  ○ スランプ又はスランプフロー及び空気量  ○ 塩化物含有量	-----	12
③容積の検査	-----	14
D クロージング会議出欠	-----	14
III 令和6年度 全国統一品質管理監査結果集計表	-----	15
IV 令和6年度 全国統一品質管理監査受審工場名簿	-----	16



## は じ め に

この報告書は、産・官・学体制で構成する和歌山県生コンクリート品質管理監査会議が、和歌山県内の生コンクリート工場（JIS表示認証工場）42工場、そのうち11工場は第三者（行政監査員）同行で令和6年8月24日から令和6年10月30日までの期間に全国統一品質管理監査基準（令和6年度版）に則り立入監査を実施した結果を取り纏めたものです。

監査は、公正・中立・透明性を旨とし和歌山県生コンクリート品質管理監査会議から任命された品質管理監査員により実施しました。

監査には、令和6年度 全国統一品質管理監査チェックリストに基づき、経営者の品質方針から製品の検査まで、工場全体にわたる品質管理状況を監査し、基準を満足しない項目については、その内容に応じた改善指導を行いました。

なお、実地検査で作製したコンクリート供試体は、県内各認定共同試験場にて圧縮強度試験を実施しました。

和歌山県生コンクリート品質管理監査会議では、今後とも生コンクリートの品質に対しユーザーからより高い評価と信頼が得られるよう、今回の評価に甘んじることなくより一層の研鑽を図ってまいりたいと考えております。

最後に監査に立会いを頂きました皆様方をはじめ、関係各位に対し感謝申し上げるとともに、生コンクリート製造に係る品質管理の現状についてご認識とご理解を頂ければ幸甚の至りでございます。

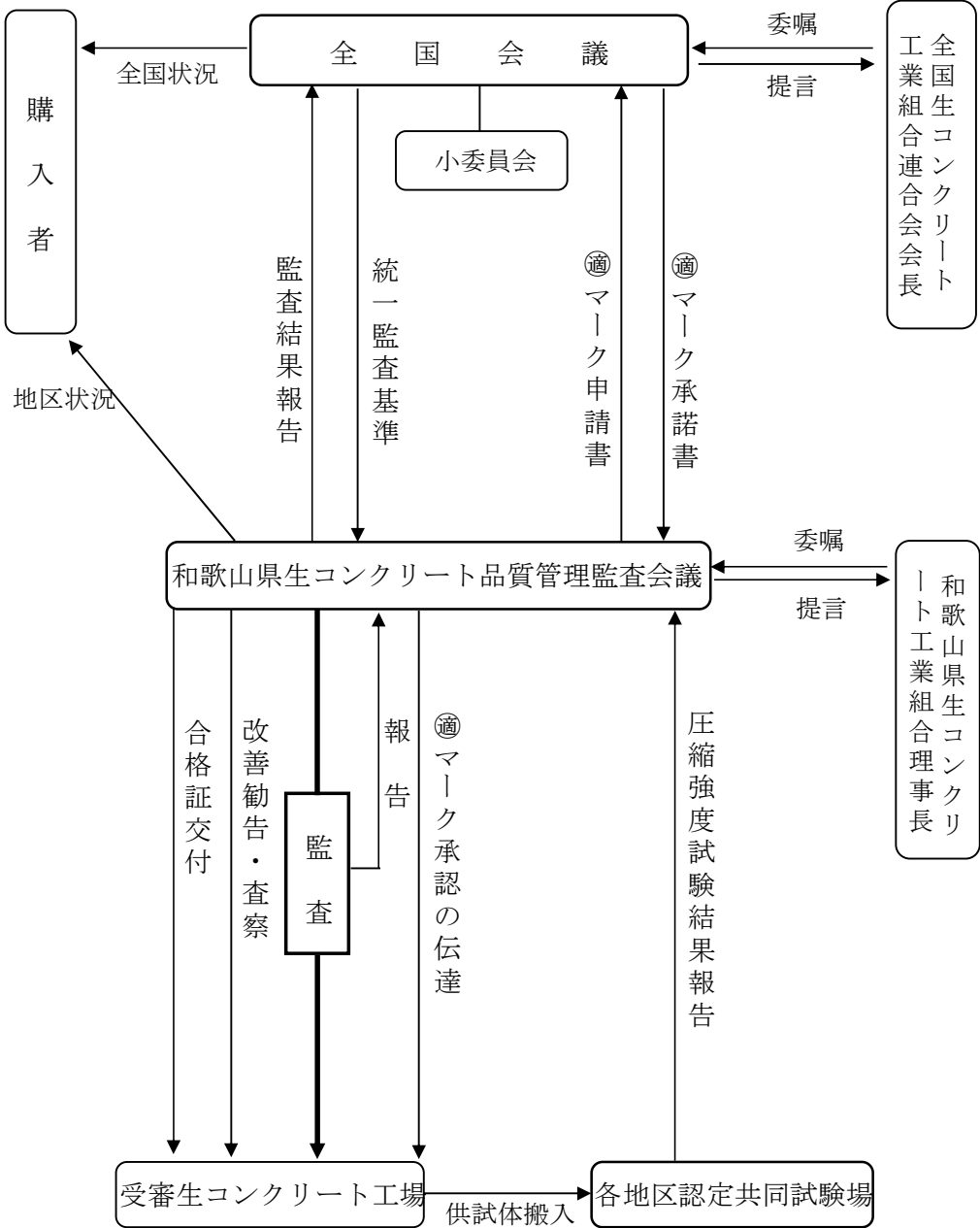
令和6年12月

和歌山県生コンクリート品質管理監査会議

議 長      中 本 純 次



全国統一品質管理監査制度の仕組み



## 和歌山県生コンクリート品質管理監査会議委員名簿

議 長		
中 本 純 次	和歌山工業高等専門学校	名誉教授
副 議 長		
曾 和 健	和歌山県 県土整備部 県土整備政策局 技術調査課	課 長
特 別 委 員		
津 村 智 明	国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 工事品質管理官	
橋 本 良 介	国土交通省 近畿地方整備局 和歌山港湾事務所	副所長
前 山 勝 彦	和歌山県 県土整備部 都市住宅局 公共建築課	課 長
松 平 芳 幸	和歌山市 都市建設局 建設総務部 技術管理課	課 長
西 口 伸	(株)浅川組 常務取締役 事業本部	代表取締役社長
池 内 茂 雄	一般社団法人 和歌山県建築士会	会 長
大 前 泰 亮	株式会社 小池組 執行役員	土木部長
佐 々 木 仁	株式会社 東組	常務執行役員
生 産 者 側 委 員		
上 田 純 也	和歌山県生コンクリート工業組合	副理事長
山 名 章 善	和歌山県生コンクリート工業組合	副理事長
伊 東 文 紀	和歌山県生コンクリート工業組合	副理事長
木 下 泰 隆	和歌山県生コンクリート工業組合	副理事長
池 田 智 昭	和歌山県生コンクリート工業組合	副理事長
森 田 清 郎	和歌山県生コンクリート工業組合	副理事長
谷 口 庸 介	和歌山県生コンクリート工業組合	副理事長
大 江 一 元	和歌山県生コンクリート工業組合	副理事長
小 森 正 剛	和歌山県生コンクリート工業組合 和歌山県生コンクリート品質管理監査会議	監査統括責任者



## I. 品質管理監査実施工場

### (1) 監査実施工場数

品質管理監査実施工場：42工場

内訳（工業組合員工場 42 工場 工業組合員外工場 0 工場）

### (2) 監査実施期間

令和6年8月24日から令和6年10月30日

### (3) 地区別監査実施工場数

地区名	実施工場数	地区名	実施工場数
橋本・伊都	4	紀 南	5
紀 北	3	大 辺 路	1
和 歌 山	7	串 本	5
中 紀	6	新 宮	4
日 高	7		
合 計	42		

## II. 品質管理監査結果

### 1. 品質管理監査の概要

今年度は、生産者側技術者の中から選ばれ、当監査会議より任命された監査員21名が、2名1組で対象工場への立入検査を行なった。

また、国交省、和歌山県、和歌山市の職員12名の方にも、監査についての事前研修を受講して頂き、監査対象工場の内12工場への立会をお願いした。

立入検査の内容は、令和6年度全国統一品質管理監査基準に定められた調査項目により行った。その内訳は下記のとおりである。

調 査 名	項 目	評価基準	望ましい基準
A 総括的事項	1. 経営者の責任	3	
	2. 社内標準化	3	
	3. 技術力の確保	2	2
	4. 教育・訓練	1	
	5. 不適合の管理	4	
	6. 環境保全	3	
	7. 文書及び品質記録の管理	3	
B 個別的事項	【1. 製品の管理基準】		
	1. 製品品質の明確化	2	
	2. 契約内容の確認	2	
	3. 容積	2	
	【2. 配合設計基準】		
	1. 配合設計手順	1	
	2. 設計インプット事項	1	
	3. 標準配合表の作成	1	
	4. 配合の変更と修正	2	
	5. 基礎資料	1	
	【3. 原材料の管理基準】		
	1. セメント	4	
	2. 骨材	9	2
	3. 水	2	
	4. 混和材料	4	

調 査 名	項 目	評価基準	望ましい基準
B 個別的事項	<b>【4. 工程管理基準】</b>		
	1. 目標品質の明確化	1	
	2. 配合の管理	7	
	3. 材料の計量	3	1
	4. 練混ぜ	9	1
	5. 運搬	6	
	6. 付着モルタル	1	
	<b>【5. 設備の管理基準】</b>		
	1. 製造設備の管理	22	4
	2. 検査設備の管理	6	
	<b>【6. 外注管理基準】</b>		
	1. 外注管理	8	
C 実地調査	1. 計量精度の検査	1	
	2. 製品の検査	4	
	3. 容積の検査	1	
合 計	129	119	10

## 2. 監査の評価・判定基準

監査項目119項目について、それぞれの達成度に応じてA（全て満足）B（満足しない項目がある）C（不満足）、評価対象外の4段階評価、又はA・B・C評価、A・C・評価対象外の3段階、A、Cの2段階評価を行う。

2.1 評価は減点法とし、その減点数を表－1～8に示す

2.2 適合判定基準

条件1：評価方法は減点法とし、減点数の合計（トータル減点数）が20点以下を適合と判定

条件2：実地調査における C0101（材料の計量精度）C0201（圧縮強度）C0202（スランプ又はスランプフロー及び空気量）C0205（塩化物含有量）がいずれもC評価でないこと

条件3：A0301（コンクリート技士等）A0302（QMR）B1102（製品の適合性確認）B3104（セメント入荷時の確認）B3204（骨材入荷時の確認）B3205（貯蔵骨材の現認）B4405（強度検査）B5102（セメントの品種別貯蔵）の評価は、いずれもC評価でないこと。

2.3 「望ましい事項」10項目については、令和6年度も判定基準の対象外とする。

### 3. 監査結果の総括

#### A. 総括的事項の調査

表-1

項 目	監査基準	評価工場数				減点数		
		A	B	C	対象外	A	B	C
1. 経営者の責任	品質方針 A0101	41	1	0		0	-2	-4
	マネジメントレビュー A0102	41	1	0		0	-2	-4
	コーポレート会議 A0103	42		0		0		-8
2. 社内標準化	責任と権限 A0201	42	0	0		0	-2	-4
	品質管理業務の標準化 A0202	42	0	0		0	-2	-4
	社内規格の見直し A0203	42	0	0		0	-2	-4
3. 技術力の確保	コンクリート技士等 A0301	39	3	0		0	-10	不適
	QMR A0302	42	0	0		0	-10	不適
4. 教育・訓練	教育・訓練 A0401	41	1	0		0	-2	-4
5. 不適合の管理	是正処置 A0501	41	0	1		0	-2	-4
	予防処置 A0502	41	1	0		0	-2	-4
	不適合の管理 A0503	42	0	0		0	-2	-4
	苦情処理 A0504	42	0	0		0	-2	-4
6. 環境保全	環境保全 A0601	42		0		0		-8
	産業廃棄物処理 A0603	42	0	0		0	-4	-8
	排水管理 A0605	30		0	12	0		-8
7. 文書及び品質記録の管理	文書の識別 A0701	40	2	0		0	-2	-4
	記録の識別 A0702	42	0	0		0	-2	-4
	ASR試験記録の永久保存 A0703	42	0	0	0	0	-2	-4

#### 【A. 総括的事項の調査判定内容】

##### 1. 経営者の責任：A0101(品質方針)

B判定-1工場

記録に関する指摘

##### A0102(マネジメントレビュー)

B判定-1工場

記録に関する指摘

##### 3. 技術力の確保：A0301(コンクリート技士等)

B判定-3工場

記録に関する指摘

##### 4. 教育・訓練：A0401(教育・訓練)

B判定-1工場

記録に関する指摘

##### 5. 不適合の管理：A0501(是正処置)

C判定-1工場

記録に関する指摘

##### A0502(予防処置)

B判定-1工場

記録に関する指摘

7. 文書及び品質記録の管理：A0701(文書の識別)  
記録に関する指摘

B判定－2工場

※上記以外の項目は全て『A評価』又は『評価対象外』であった

B. 個別的事項の調査

1. 製品の管理基準

表－2

項 目	監査基準	評価工場数				減点数		
		A	B	C	対象外	A	B	C
1. 製品品質の明確化	製品の要求品質 B1101	42		0		0		-8
	製品の適合性確認 B0102	42		0		0		不適
2. 契約内容の確認	契約内容の確認 B1201	41	0	1		0	-2	-4
	契約内容の伝達 B1202	41	1	0		0	-2	-4
3. 容積	容積の管理基準 B1301	42		0		0		-8
	容積の検査 B1302	42		0		0		-8

2. 配合設計基準

表－3

項 目	監査基準	評価工場数				減点数		
		A	B	C	対象外	A	B	C
1. 配合設計手順	配合設計手順 B2101	42		0		0		-8
2. 設計インプット事項	設計インプット事項 B2201	42		0		0		-8
3. 標準配合表作成	標準配合表 B2301	41		1		0		-8
4. 配合の変更と修正	配合変更条件 B2401	42		0		0		-8
	配合修正条件 B2402	42		0		0		-8
5. 基礎資料	基礎資料 B2501	40		2		0		-8

3. 原材料の管理基準

表－4

項 目	監査基準	評価工場数				減点数		
		A	B	C	対象外	A	B	C
1. セメント	セメントの要求品質等 B3101	42		0		0		-8
	セメントの受入検査 B3102	42	0	0		0		-8
	セメントの圧縮強さ B3103	41		1		0		-8
	セメント入荷時の確認 B3104	42	0	0		0	-4	不適
2. 骨材	骨材の要求品質等 B3201	42		0		0		-8
	骨材の受入検査 B3203	42	0	0		0	-4	-8
	骨材入荷時の確認 B3204	42	0	0		0	-4	不適
	貯蔵骨材の現認 B3205	42		0		0		不適
	骨材のアルカリシリカ反応抑制対策 B3207	42		0		0		-8
	人工軽量骨材の保管管理 B3208	0		0	42	0		-8
	納入業者からの骨材購入 B3209	39		0	3	0		-8
	予め混合した骨材 B3210	2		0	40	0		-8
	回収骨材 B3211	0		0	42	0		-8
2. 水	水の要求品質等 B3301	41		1		0		-8
	水の検査 B3302	42		0	0	0		-8
3. 混和材料	混和材料の要求品質等 B3401	42		0		0		-8
	混和材料の受入検査 B3402	42	0	0		0		-8
	JIS規定外混和材料の受入検査 B3403	0		0	42	0		-8
	付着セメント及びスラッグ水に用いる安定剤の受入検査 B3404	0		0	42	0		-8

4. 工程管理基準

表－5

項 目	監査基準	評価工場数				減点数		
		A	B	C	対象外	A	B	C
1. 目標品質の明確化	目標品質の明確化 B4101	42		0		0		-8
2. 配合の管理	細骨材の粗粒率 B4201	42		0		0		-8
	骨材の併用 B4203	36		0	6	0		-8
	細骨材の表面水率 B4205	42		0		0		-8
	粗骨材の表面水率 B4206	42		0		0		-8

項 目	監査基準	評価工場数				減点数		
		A	B	C	対象外	A	B	C
2. 配合の管理	スラッジ 固形分率管理 B4207	0		0	42	0		-8
	人工軽量骨材の含水率 B4208	0		0	42	0		-8
	回収骨材の使用方法及び置換率 B4209	0		0	42	0		-8
3. 材料の計量	材料計量方法 B4301	42		0		0		-8
	動荷重検査 B4302	42		0		0		-8
	計量記録の整備 B4303	42		0		0		-8
4. 練混ぜ	練混ぜ方法 B4401	41		1		0		-8
	スラップ 容量の目視 B4403	42		0		0		-8
	スラップ 又はスラップ フロー検査 B4404	42		0		0		-8
	強度検査 B4405	42		0		0		不適
	空気量検査 B4407	42		0		0		-8
	塩化物含有量検査 B4408	42		0		0		-8
	単位容積質量（軽量） B4409	0		0	42	0		-8
	コンクリート温度 B4410	42		0		0		-8
	高強度コンクリートの単位水量 B4412	4		0	38	0		-8
5. 運搬	運搬時間 B4501	42	0	0		0	-4	-8
	残水の排出 B4502	42		0		0		-15
	トラム内への加水禁止 B4503	42		0		0		-15
	雨水対策 B4504	42	0	0		0	-2	-4
	誤納防止 B4505	42		0		0		-15
	納入書 B4506	42		0		0		-8
6. 付着モルタル	付着モルタル再利用 B4601	0		0	42	0		-8

#### 5. 設備の管理基準

表-6

項 目	監査基準	評価工場数				減点数		
		A	B	C	対象外	A	B	C
1. 製造設備の管理	セメント貯蔵設備 B5101	42		0		0		-8
	セメント品種別貯蔵 B5102	42		0		0	-8	不適
	骨材貯蔵設備 B5103	42		0		0		-8
	細骨材貯蔵設備の上屋 B5105	42	0	0		0	-4	-8
	粗骨材貯蔵設備の上屋 B5106	39	1	2		0	-2	-4
	コンベアのカバー B5107	42	0	0		0	-4	-8
	骨材のプレウェッティング設備 B5109	0		0	42	0		-8
	骨材の受入・供給システム B5110	42	0	0		0	-2	-4
	混和材料貯蔵設備 B5111	42		0		0		-8
	静荷重検査 B5112	42		0		0		-8
	電気式校正器 B5113	40		0	2	0		-8
	容量変換装置 B5115	42		0		0		-8
	細骨材表面水率補正装置 B5117	42		0		0		-8
	粗骨材表面水率補正装置 B5118	42		0		0		-4
	混和剤過剰添加防止装置 B5119	42		0		0	-2	-4
	計量印字記録装置 B5120	42	0	0		0	-2	-4
	ミキサ練混ぜ性能 B5121	42		0		0		-8
	運搬車性能検査 B5123	42		0		0		-8
	スラッジ水の濃度測定器具又は装置 B5124	0		0	42	0		-8
	スラッジ水濃度調整設備 B5125	0		0	42	0		-4
	スラッジ水の自動演算装置 B5126	0		0	42	0		-8
	安定化スラッジ水の製造設備 B5127	0		0	42	0		-8
2. 検査設備の管理	検査設備 B5201	42		0		0		-8
	試し練りミキサ B5202	42		0		0		-4
	機器の保護手段 B5203	42		0		0		-8
	養生水槽の管理 B5204	42		0		0		-8
	機器の校正 B5206	42		0		0		-8
	校正状態の識別 B5207	42		0		0		-8

【B. 個別的事項の調査判定内容】

2. 契約内容の確認：B1201(契約内容の確認) 記録に関する指摘	C判定－1工場
2. 契約内容の確認：B1202(契約内容の伝達) 記録に関する指摘	B判定－1工場
3. 標準配合表作成：B2301(標準配合表) 記録に関する指摘	C判定－1工場
5. 基礎資料：B2501(基礎資料) 記録に関する指摘	C判定－2工場
1. セメント：B3103(セメントの圧縮強さ) 記録に関する指摘	C判定－1工場
2. 水：B3301(水の要求品質等) 記録に関する指摘	C判定－1工場
4. 練混ぜ：B4401(練混ぜ方法) 記録に関する指摘	C判定－1工場
1. 製造設備の管理：B5106(粗骨材貯蔵設備の上屋) 記録に関する指摘	B判定－1工場 C判定－2工場

※上記以外の項目は全て『A評価』又は『評価対象外』であった

## 6. 外注管理基準

表－7

項 目	監査基準	評価工場数				減点数		
		A	B	C	対象外	A	B	C
1. 外注管理	材料試験の外注 B6101	40		0	2	0		-8
	製造設備管理の外注 B6102	40		0	2	0		-8
	検査設備管理の外注 B6103	42		0	0	0		-8
	運搬車性能試験の外注 B6104	1		0	41	0		-8
	運搬の外注 B6105	41		0	1	0		-8
	工程管理試験の外注 B6106	0		0	42	0		-8
	製品試験の外注 B6107	0		0	42	0		-8
	容積試験の外注 B6108	0		0	42	0		-8

※ 6. 外注管理基準ではすべて『A評価』又は『評価対象外』であった



C. 実地調査

・抜取試料の概要

表-8

項 目	監査基準	評価工場数				減点数		
		A	B	C	対象外	A	B	C
1. 計量精度の検査	材料の計量精度 C0101	42	0	0		0	-8	不適
2. 製品の検査	圧縮強度(強度比1.5以上は-1点) C0201	42	0	0		0	0	不適
	スラング 又はスラング フロー及び空気量 C0202	42	0	0		0	-10	不適
	コンクリート温度 C0203	42	0	0		0		-8
	塩化物含有量 C0205	42		0		0		不適
3. 容積の検査	容積 C0206	42		0		0		-10

監査当日に出荷されるコンクリートの中から、原則としてJIS規格品またはJIS規格相当品で、かつ圧縮強度の管理実績のある任意の配合を選び適合性の確認を行った。

受審42工場における抜取資料の呼び強度、スラング、粗骨材の最大寸法及びセメントの種類を下表に示す。

呼び強度 (N/mm <sup>2</sup> )			18～21	24以上
工 場 数			34	8
配合条件による工場数	スラング	15cm未満	27	1
		15cm以上	7	7
	セメントの種類	普通セメント	7	6
		早強セメント	0	0
		高炉セメント	27	2
	粗骨材の最大寸法 (mm)	20mm	16	6
		25mm	10	2
		40mm	8	0

① 計量精度の検査

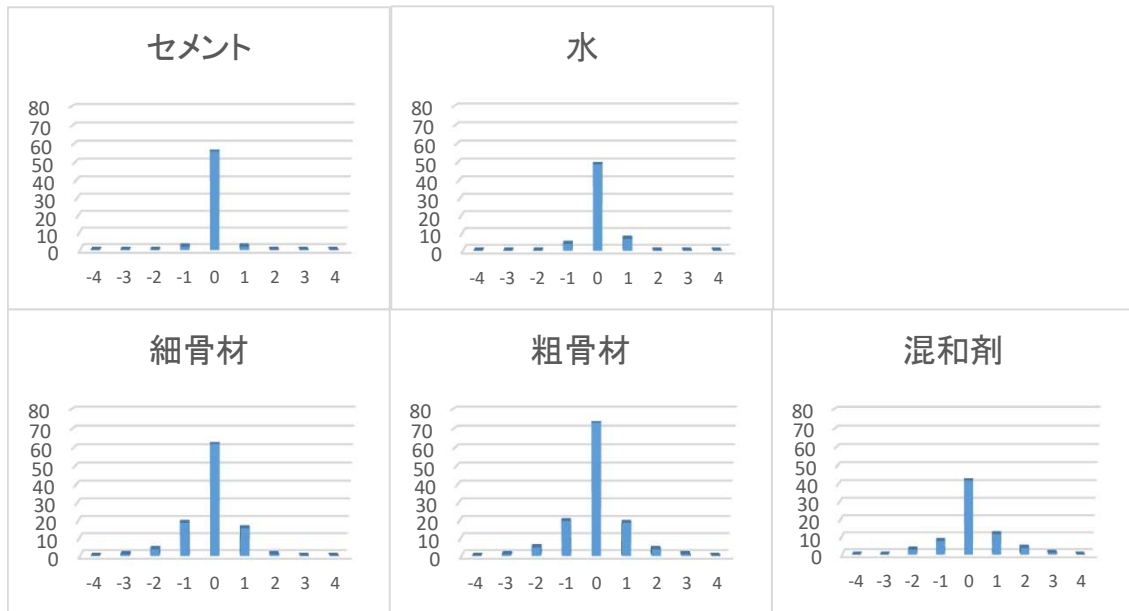
C0101 (材料の計量精度)

全ての工場がA評価であった  
(動荷重検査の結果)

材料名	計量誤差		計 量 誤 差 (%)								
			-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4
セメント	±1%	個数	0	0	0	2	56	2	0	0	0
		(%)	0.0	0.0	0.0	3.3	93.4	3.3	0.0	0.0	0.0
水	±1%	個数	0	0	0	4	49	7	0	0	0
		(%)	0.0	0.0	0.0	6.7	81.6	11.7	0.0	0.0	0.0
細骨材	±3%	個数	0	1	4	19	62	16	1	0	0
		(%)	0.0	1.0	3.9	18.4	60.2	15.5	1.0	0.0	0.0
粗骨材	±3%	個数	0	1	5	20	73	19	4	1	0
		(%)	0.0	0.8	4.1	16.3	59.3	15.4	3.3	0.8	0.0
混和剤	±3%	個数	0	0	3	8	42	12	4	1	0
		(%)	0.0	0.0	4.3	11.4	60.1	17.1	5.7	1.4	0.0

※計量誤差範囲外





## ② 製品の検査

### C0201 (圧縮強度)

圧縮強度の適合性については、下表の通り圧縮強度比が1.0以上であり  
全て「A評価」であった。

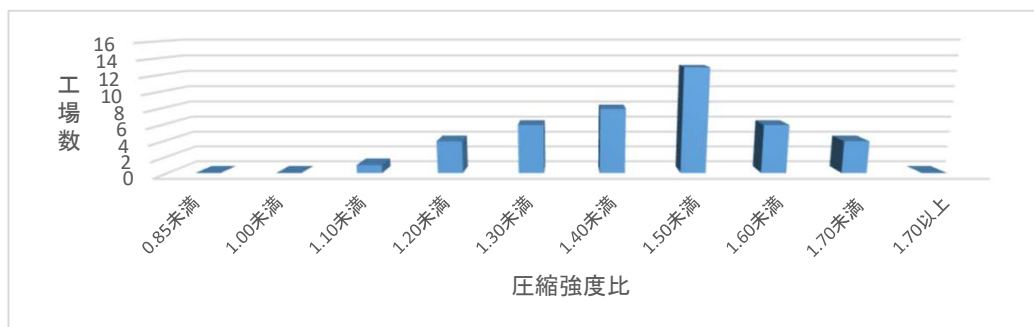
尚、試験は、県下各認定共同試験場で実施した。

呼び強度	工場数	圧縮強度 (N/m <sup>2</sup> )			圧縮強度比		
		最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値
18	15	29.9	19.5	26.0	1.66	1.08	1.44
21	19	33.6	24.7	28.8	1.60	1.18	1.37
24	7	36.9	29.8	33.2	1.54	1.24	1.38
27	0	—	—	—	—	—	—
30	1	35.1	35.1	35.1	1.17	1.17	1.17

圧縮強度比〔(材齢28日圧縮強度) / (呼び強度の強度値)〕

強度比	0.85 未満	0.85 ～ 1.00 未満	1.00 ～ 1.10 未満	1.10 ～ 1.20 未満	1.20 ～ 1.30 未満	1.30 ～ 1.40 未満	1.40 ～ 1.50 未満	1.50 ～ 1.60 未満	1.60 ～ 1.70 未満	1.7 以上
工場数	0	0	1	4	6	8	13	6	4	0

不合格;



# C0202 (スランプ又はスランプフロー及び空気量)

スランプ及び空気量の適合性については、全ての工場は「A評価」であった。

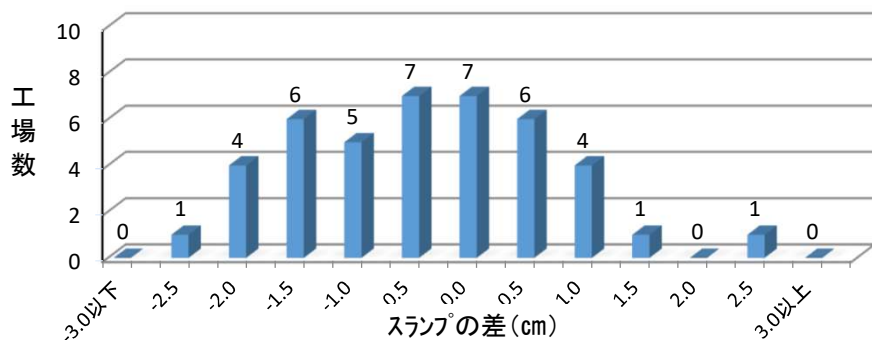
(スランプ試験差の結果)

(規格値±2.5cm)

スランプの差	-3.0以下	-2.5	-2.0	-1.5	-1.0	-0.5	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0以上
工場数	0	1	4	6	5	7	7	6	4	1	0	1	0

不合格

不合格



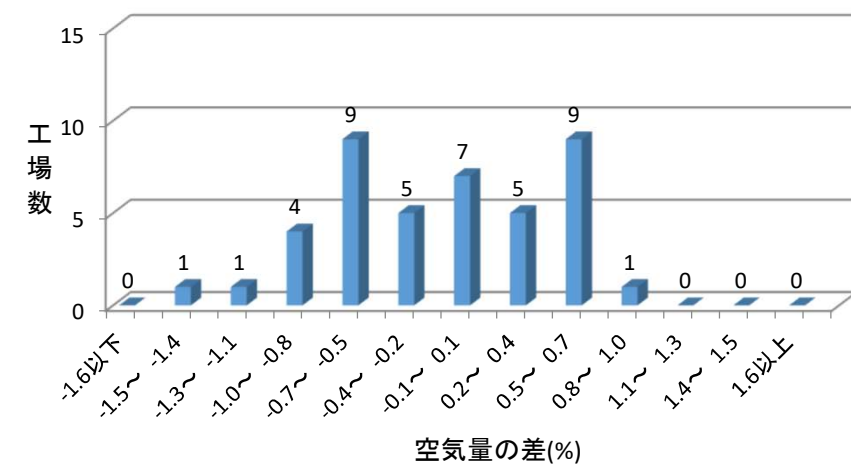
(空気量試験差の結果)

(規格値±1.5%)

空気量の差 (%)	-1.6以下	-1.5~-1.4	-1.3~-1.1	-1.0~-0.8	-0.7~-0.5	-0.4~-0.2	-0.1~0.1	0.2~0.4	0.5~0.7	0.8~1.0	1.1~1.3	1.4~1.5	1.6以上
工場数	0	1	1	4	9	5	7	5	9	1	0	0	0

不合格

不合格



### C0205（塩化物含有量）

塩化物含有量の適合性については、規定値 $0.30\text{kg}/\text{m}^3$ を超える工場は無く全て「A評価」であった。

(規格値 $0.3\text{kg}/\text{m}^3$ )

塩化物量 ( $\text{kg}/\text{m}^3$ )	工場数
0.00～0.05	28
0.06～0.10	13
0.11～0.20	0
0.21～0.30	0

### ③ 容積の検査

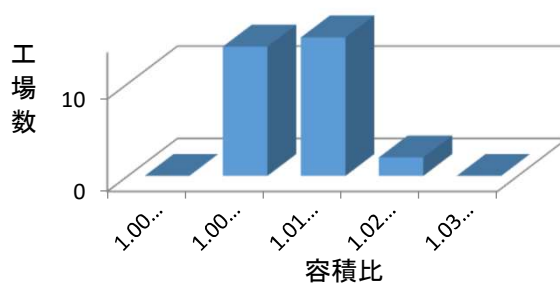
#### C0206（容積）

容積の適合性については、全ての工場は「A評価」であった。

【容 積 比】

容積比	1.000未満	1.000～1.010	1.011～1.020	1.021～1.030	1.031以上
工場数	0	14	26	2	0
比率%	0	33	62	5	0

不合格



### D クロージング会議経営者の出欠

基準分類	項 目	監査基準	評価工場数			評価点数		
			A	B	C	A	B	C
経営者の責任	クロージング会議経営者の出欠	A0103	42	0	0	0		-8

クロージング会議には、すべての工場で、経営に携わる取締役以上の役職者が出席された。

### Ⅲ 令和6年度 全国統一品質管理監査結果集計表

## 2024年度全國統一品質管理監查結果集計表

和歌山県生コンクリート品質管理監査会議

令和6年度  
B調査表

A総合的事項の調査(19項目)				B個別的事項の調査(94項目)				望ましい事項の調査(10項目)			
項目	A	B	C	項目	A	B	C	項目	A	B	C
A0101 品質方針	41	1	0	B1101 製品の要求品質	42	0	0	B5101 セットの明確化	42	0	0
A0102 3次元ドキュメント	41	1	0	B1102 製品の適合性確認	42	0	0	B5102 セットの品別貯蔵	42	0	0
A0103 7年間の保証	42	0	0	B2101 契約内容の確認	41	0	1	B5103 骨材貯蔵設備	42	0	0
A0201 責任と期限	42	0	0	B2102 契約内容の伝達	41	1	0	B5105 骨材の表面水率	36	0	6
A0202 品質管理業務の標準化	42	0	0	B3101 容積の管理基準	42	0	0	B5106 骨材貯蔵設備の上層	42	0	0
A0203 社内規程の見直し	42	0	0	B3102 容積の管理基準	42	0	0	B5107 コパへのカバー	39	1	2
A0301 コット技術等	39	3	0	B3103 容積の管理	42	0	0	B5108 骨材のコンクリート設備	42	0	0
A0302 OMR	42	0	0	B4201 配合設計手順	42	0	0	B5109 骨材のコンクリート設備	42	0	0
A0401 教育訓練	41	1	0	B4202 配合設計手順	42	0	0	B5110 骨材の受入・供給システム	42	0	0
A0501 是正処置	41	0	1	B4203 配合設計手順	42	0	0	B5111 骨材の受入・供給システム	42	0	0
A0502 予防処置	41	1	0	B4204 配合設計手順	42	0	0	B5112 骨材の受入・供給システム	42	0	0
A0503 不適合品の管理	42	0	0	B4205 配合設計手順	42	0	0	B5113 骨材の受入・供給システム	42	0	0
A0504 苦情処理	42	0	0	B4206 配合設計手順	42	0	0	B5114 骨材の受入・供給システム	42	0	0
A0601 環境保全	42	0	0	B4207 配合設計手順	42	0	0	B5115 骨材の受入・供給システム	42	0	0
A0603 産業廃棄物処理	42	0	0	B4208 配合設計手順	42	0	0	B5116 骨材の受入・供給システム	42	0	0
A0605 排水管理	30	0	12	B4209 配合設計手順	42	0	0	B5117 骨材の受入・供給システム	42	0	0
A0701 文書の識別	40	2	0	B4210 配合設計手順	42	0	0	B5118 骨材の受入・供給システム	42	0	0
A0702 記録の識別	42	0	0	B4211 配合設計手順	42	0	0	B5119 骨材の受入・供給システム	42	0	0
A0703 ASR試験記録の永久保存	42	0	0	B4212 配合設計手順	42	0	0	B5120 骨材の受入・供給システム	42	0	0
B2101 契約内容の確認	41	0	1	B4213 配合設計手順	42	0	0	B5121 骨材の受入・供給システム	42	0	0
B2102 契約内容の伝達	41	1	0	B4214 配合設計手順	42	0	0	B5122 骨材の受入・供給システム	42	0	0
B2103 容積の管理基準	42	0	0	B4215 配合設計手順	42	0	0	B5123 骨材の受入・供給システム	42	0	0
B2104 容積の管理基準	42	0	0	B4216 配合設計手順	42	0	0	B5124 骨材の受入・供給システム	42	0	0
B2105 容積の管理基準	42	0	0	B4217 配合設計手順	42	0	0	B5125 骨材の受入・供給システム	42	0	0
B2106 容積の管理基準	42	0	0	B4218 配合設計手順	42	0	0	B5126 骨材の受入・供給システム	42	0	0
B2107 容積の管理基準	42	0	0	B4219 配合設計手順	42	0	0	B5127 骨材の受入・供給システム	42	0	0
B2108 容積の管理基準	42	0	0	B4220 配合設計手順	42	0	0	B5128 骨材の受入・供給システム	42	0	0
B2109 容積の管理基準	42	0	0	B4221 配合設計手順	42	0	0	B5129 骨材の受入・供給システム	42	0	0
B2110 容積の管理基準	42	0	0	B4222 配合設計手順	42	0	0	B5130 骨材の受入・供給システム	42	0	0
B2111 容積の管理基準	42	0	0	B4223 配合設計手順	42	0	0	B5131 骨材の受入・供給システム	42	0	0
B2112 容積の管理基準	42	0	0	B4224 配合設計手順	42	0	0	B5132 骨材の受入・供給システム	42	0	0
B2113 容積の管理基準	42	0	0	B4225 配合設計手順	42	0	0	B5133 骨材の受入・供給システム	42	0	0
B2114 容積の管理基準	42	0	0	B4226 配合設計手順	42	0	0</				

# Ⅳ 令和6年度 全国統一品質管理監査受審工場名簿

工 場 名	郵便番号	住 所	電話番号
ニューリンクコンクリート株式会社	648-0043	橋本市学文路191番地-2	0736-33-3432
ニューリンクコンクリート株式会社 第二工場	648-0086	橋本市神野々1224-1	0736-26-7573
有限会社山水生コン	648-0402	伊都郡高野町東富貴713番地	0736-53-2244
スカイコンクリート	643-0614	伊都郡かつらぎ町花園新子256-2	0737-26-0154
株式会社PALレミコン かつらぎ工場	649-7155	伊都郡かつらぎ町島337-1	0736-22-1293
株式会社PALレミコン ねごろ工場	649-6202	岩出市根来782番地	0736-69-0730
株式会社PALレミコン 貴志川工場	640-0411	紀の川市貴志川町前田37	0736-64-3755
株式会社上山商店 琴浦生コンクリート工場	641-0014	和歌山市毛見1436	073-445-5111
海南ベイコンクリート株式会社	642-0035	海南市冷水325-46	073-484-3181
有限会社紀州生コン	640-0342	和歌山市松原394番地	073-479-0740
株式会社酒直レミコン	640-8404	和歌山市湊1334番地	073-431-1388
大弘平和共同プラント株式会社	640-8404	和歌山市湊1342-4	073-427-6006
株式会社大東陽	649-6262	和歌山市上三毛968	073-477-1171
丸山生コンクリート株式会社	640-1244	海草郡紀美野町福田781	073-489-2774
有田生コンクリート産業株式会社	649-0302	有田市山田原107	0737-83-2451
オレンジ生コン株式会社 清水工場	643-0521	有田郡有田川町清水803番地-1	0737-25-1168
東亜生コン株式会社	649-0307	有田市初島町里601	0737-83-5588
有限会社中屋生コン	643-0163	有田郡有田川町修理川287	0737-32-2397
オレンジ生コン株式会社 広川工場	643-0054	有田郡広川町前田699-6	0737-63-2338
湯浅生コン株式会社	643-0004	有田郡湯浅町大字湯浅新屋敷2977番地	0737-63-1141
有限会社印南生コンクリート	649-1522	日高郡印南町古井188-1	0738-45-0231
中津産業株式会社	644-1122	日高郡日高川町高津尾1606-1	0738-54-0339
日高生コンクリート株式会社	644-0025	御坊市塩屋町北塩屋676	0738-22-1286
美山生コンクリート株式会社	644-1212	日高郡日高川町川原河472番地	0738-56-0345
株式会社山久 由良生コンクリート工業所	649-1104	日高郡由良町江の駒448-6	0738-65-1133
株式会社セイシン	649-1221	日高郡日高町大字志賀字岩戸4339-1	0738-65-1777
株式会社セイシン 第2工場	644-0003	御坊市島外川原1093番地	0738-24-2511
共栄ナマコン協同組合	645-0302	田辺市龍神村甲斐ノ川1134	0739-77-0331
ワシン生コン株式会社	649-2105	西牟婁郡上富田町朝来2081番地の1	0739-34-2117
南紀田辺生コン有限責任事業組合 きのくに生コン工場	646-0216	田辺市下三栖1475番地-105	0739-25-9303
南部生コン工業株式会社	645-0011	日高郡みなべ町気佐藤657	0739-72-4314
口熊野生コンクリート製造有限会社	649-2321	西牟婁郡白浜町保呂1	0739-45-1533
日置川開発株式会社 日置川生コン	649-2511	西牟婁郡白浜町日置728	0739-52-2015
株式会社尾花組 生コン工場	649-2621	西牟婁郡すさみ町周参見字大串4572	0739-55-2502
株式会社田所建設 すさみ生コン工場	649-2621	西牟婁郡すさみ町周参見1330-1	0739-55-3053
株式会社 明神コンクリート	649-4226	東牟婁郡古座川町明神78	0735-78-0007
株式会社小森組 生コンクリート部	649-3513	東牟婁郡串本町高富120	0735-62-1335
千鳥建設株式会社 二色工場	649-3512	東牟婁郡串本町二色365	0735-62-1394
セントラルコンクリート株式会社	647-1222	新宮市熊野川町東敷屋278番地-2	0735-47-8222
岡本土石工業株式会社 生コンクリート部 新宮工場	647-1103	新宮市南桧杖519-1	0735-21-2422
株式会社日比野生コン 新宮工場	647-1102	新宮市相賀695-2	0735-29-0311
株式会社日比野生コン 勝浦工場	649-5336	東牟婁郡那智勝浦町湯川897-103	0735-52-5515